

平成30年度

鹿児島大学大学院水産学研究科（修士課程）

学生募集要項

一般選抜

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜（面接を課す）

外国人留学生特別選抜（面接を課さない）

鹿児島大学大学院水産学研究科

鹿児島大学大学院水産学研究科（修士課程）の アドミッション・ポリシー

鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、地域社会と国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成することを目指します。これに基づき、以下のような人たちの入学を求めます。

- 水圏生物や海洋環境に関する基礎科学を学びたい人
- 水産業における資源生産管理や増養殖に関する理論と技術を修得したい人
- 水産食品や水産資源の先進的利用について学びたい人
- 水産業に係わる政策や流通に関する知識と技術を修得したい人
- 水圏の環境保全に関する知識を学びたい人

熱帯水産学国際連携プログラム

熱帯・亜熱帯水産業に関する学術の理論及び応用に関する知識及び技術を修得し、グローバル化社会で活躍できる能力を有する人材を育成することを目的として、海外の5大学（インドネシア・サムラトランギ大学、フィリピン・フィリピン大学ビサヤス校、タイ・カセサート大学、マレーシア・トレンガヌ大学、ベトナム・ニャチャン大学）と共に熱帯水産学国際連携プログラムを開設しています。当研究科では、この新規プログラムに以下のような人たちの入学を求めます。希望者は、入学後に当該プログラムへの登録を行います。

- 熱帯・亜熱帯水産業に関する理論及び応用を学びたい人
- 海外の大学での研修等を通じて、水産業に関係する他国の産業、社会及び文化に接する経験をし、それらを理解したい人
- グローバル化社会で活躍できる能力を強化したい人

入学試験関係日程

(第1次募集)

願書受付期間	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 (面接を課す) (面接を課さない)	平成29年6月12日(月)～6月16日(金)16時必着
入学試験日 (外国人留学生特別選抜(面接を課さない)を除く)		平成29年8月18日(金)
合格者発表日		平成29年9月1日(金)午前10時

(第2次募集)

願書受付期間	一般選抜 社会人特別選抜	平成29年12月4日(月)～12月8日(金)16時必着
	外国人留学生特別選抜 (面接を課す) (面接を課さない)	平成30年1月4日(木)～1月10日(水)16時必着
入学試験日 (外国人留学生特別選抜(面接を課さない)を除く)		平成30年1月24日(水)
合格者発表日		平成30年2月7日(水)午前10時

1.

専攻名、分野名、募集人員及び試験科目

専攻名	分野名	募集人員 合計	1次	2次	試験科目			
					一般選抜	社会人 特別選抜	外国人留学生 特別選抜	
							面接を 課す	面接を 課さない
水産学	水圏科学	32人	30人	2人	○英語 ○基礎科目※ (2科目) ○面接	○小論文 ○面接	○面接	出願時に提出 された書類に より選考する。
	水産資源科学							
	食品生命科学							
	水産経済学							
	水圏環境保全学							

募集人員は一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜（面接を課す）、外国人留学生特別選抜（面接を課さない）すべてを含む。

※ 出身大学における学業成績が優秀であると認めた者は、16人を上限として筆記試験（基礎科目）を免除する。（第1次募集のみ）

2. 入学者の選抜

2-1. 一般選抜

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 学校教育法第83条に定める大学の卒業生及び平成30年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑧ 出願年度の3月31日で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修

- 了し、大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑨ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

【注】出願資格⑧⑨により出願しようとする者については、事前に入学資格審査を行うので、あらかじめ鹿児島大学水産学部学生係に照会し、入学資格審査申請等の関係書類を下記日時までに同係へ提出すること。

第1次募集 平成29年6月5日（月）16時まで（必着）

第2次募集 平成29年11月21日（火）16時まで（必着）

(2) 出願書類等

	出願書類等	注意事項
①	入学願書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
②	自己推薦書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
③	卒業証明書 又は 卒業見込証明書	1) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（本学部出身者は不要） 2) 出願資格②により出願する場合は、独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は学位授与見込証明書 3) 出願資格⑧⑨により出願する場合は、本学大学院が発行した認定書
④	成績証明書	出身大学（学部）長が発行し、厳封したもの
⑤	写真2枚	上半身脱帽「縦4cm×横3cm」、出願前3カ月以内に撮影したものを、願書及び写真票の所定の位置に貼付すること。
⑥	在留資格を証明する書類	外国人志願者のみ 在留カード又は旅券の写し
⑦	返信用封筒	郵便番号・住所・氏名を明記し、82円切手を貼付した長形3号の封筒
⑧	検定料	30,000円 （検定料払込用紙（朱書）により、郵便局から払込み後、出願書類に【振替払込受付証明書（お客さま用）】を添えて出願すること。） なお、払込方法、留意事項は、「4. 検定料の納入について」（13頁）を参照してください。

【注】出願書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、日本語もしくは英語の翻訳文を原本とともに提出すること。

(3) 選考方法

入学者の選考は、筆記試験（英語・基礎科目、なお英語にはリスニングを含まない）、面接試験及び出願書類を総合して行う。

- 【注】 出身大学における学業成績が優秀であると認められた者は、16人を上限として筆記試験（基礎科目）を免除する。（第1次募集入試のみ）
なお、筆記試験（基礎科目）を免除するか否かは、受験票発送時（7月13日（木）頃）に本人宛へ通知する。

(4) 筆記試験科目

① 英語

本研究科の筆記試験日に本研究科試験場で実施される TOEFL-ITP テスト（Level 1）を課す。ただし、Listening Comprehension は課さず、評価の対象ともしない。配点は、TOEFL-ITP の Section 2（Structure and Written Expression）と Section 3（Reading Comprehension）の各素点の合計を 100 点満点に換算したものとす。

- 【注】 TOEFL-ITP は、TOEFL テストの作成元である Educational Testing Service（ETS）が提供する団体向けテストプログラムである。本研究科では、「英語」の試験として、TOEFL-ITP テストを本研究科の筆記試験日に本研究科試験場で実施する。試験の日時、試験場については 15 頁を参照すること。
過去に受験した TOEFL-ITP テストのスコアカードは、本研究科の「英語」の成績として利用しない（本研究科の選考対象とはしない）。必ず本研究科の筆記試験日に本研究科試験場で実施される TOEFL-ITP テストを受験すること。
なお、TOEFL-ITP テストの受験に際し、本研究科への出願以外の手続きは要さない。また、TOEFL-ITP テスト受験のための受験料等の支払いも発生しない。

② 基礎科目

筆記試験の基礎科目（2科目）は、大学院（修士課程）の授業科目を履修し、研究指導を受けるための基礎的能力及び必要な知識を有しているかどうかを問うものである。

基礎科目一覧（4頁参照）中の志望する分野の科目群から1科目、全科目から1科目、計2科目を選択して受験しなければならない。配点は1科目100点、2科目の合計で200点とする。

なお、試験時間中、試験会場への関数電卓の持ち込みと試験会場での使用を認める。

③ 基礎科目一覧

分野名	科目群	キーワード
水圏科学	水産動物学	魚類、軟体動物、甲殻類、棘皮動物、水産重要種の生活史、分類、形態、魚類生理
	水産植物学	海藻、海草、分類、生態（分布・生活史）、生理（光合成）、藻場、磯焼け
	水圏生態学	生態系、物質循環、生産、食物網、群集、個体群、種多様性、生活史（生活環）
	基礎力学	運動の法則、質点系の運動、剛体のつりあい、剛体の運動と重心、浮力、ベルヌーイの定理
	基礎数学	三角関数、指数関数、対数関数、複素数、ベクトル、行列、微分、積分、線形常微分方程式
水産資源科学	漁具漁法学	漁具、漁法、漁獲過程、資源の持続的利用、漁業技術管理、水生動物の感覚と行動
	資源生産工学	漁具設計の基礎（漁具の成立条件を含む） 水産資源の調査・管理に関する電子工学、水産音響学
	水産資源学	水産資源、年齢と成長、成熟と産卵、分布と回遊、加入と生残、自然死亡と漁獲死亡、資源量推定、乱獲、資源管理
	水産増殖生理学	増殖、養殖、栽培漁業、健苗性、種苗性、仔魚飼育、餌料生物、栄養要求、栄養生理、各種栄養素の役割、発生工学、繁殖、生殖細胞、人為催熟
	水族病理・免疫学	養殖魚、感染症、病原体、診断、予防、治療、自己認識、自然免疫、獲得免疫、ワクチン
食品生命科学	食品化学	食品成分の化学、機能性成分、食の安全、天然有機化合物、食品微生物
	食品保蔵学	魚肉タンパク質の特性、水分活性、鮮度、低温貯蔵、殺菌、包材、ガス置換包装
	生物化学	生体分子の構造、酵素、糖質の代謝、好氣的代謝、脂質の代謝、窒素の代謝
	分子生物学	DNA、RNA、染色体、遺伝子発現、遺伝子工学の基礎
水産経済学	水産流通学	水産物流通、水産物消費、卸売市場、価格、需給
	水産政策学	漁業経営、漁業権、漁業協同組合、資源管理型漁業、地域活性化、水産政策、労働力
水圏環境保全学	水質保全学	有害物質、環境汚染、生態毒性、生物濃縮、水質基準、環境修復、養殖場の環境指標と基準値
	水圏環境微生物学	ウイルス、細菌、微細藻類、有害有毒藻類ブルーム、富栄養化、バイオレメディエーション、水圏バイオマス

2-2. 社会人特別選抜

(1) 出願資格

一般選抜出願資格の①～⑦、⑨のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者

- ① 出願時に官公庁、企業、教育機関等に正規職員として2年以上在職している者
- ② 出願時に官公庁、企業、教育機関等に正規職員として2年以上勤務した経験を有する者
- ③ 本学大学院で上記と同等の社会的経験を有すると認められた者

【注】一般選抜出願資格に示す出願資格⑨により出願しようとする者については、事前に入学資格審査を行う。また、上記の出願資格②③により出願しようとする者については、事前に出願資格審査を行う。これらに該当する者は、あらかじめ鹿児島大学水産学部学生係に照会し、入学資格審査申請、出願資格審査等の関係書類を下記日時までに同係へ提出すること。

第1次募集 平成29年6月5日（月）16時まで（必着）

第2次募集 平成29年11月21日（火）16時まで（必着）

【注】出願の前に、自分が研究指導を希望する当研究科の教員（研究指導予定教員）と連絡を取り、入学後の学習・研究計画について十分に打ち合わせておくこと。

(2) 出願書類等

	出願書類等	注意事項
①	入学願書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
②	自己推薦書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
③	卒業証明書	1) 出身大学の卒業証明書（本学部出身者は不要） 2) 一般選抜出願資格②により出願する場合は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は学位授与見込証明書 3) 一般選抜出願資格⑨により出願する場合は、本学大学院が発行した認定書
④	成績証明書	出身大学（学部）長が発行し、厳封したもの
⑤	推薦書	上記の出願資格①により出願しようとする者については、所属する官公庁、企業、教育機関等の長もしくは上司の推薦書を提出すること。 上記の出願資格②③により出願しようとする者については、出願者の資質や研究能力を十分に理解している者の推薦書を提出すること。 書式は任意とする。
⑥	社会人活動状況調書	官公庁、企業、教育機関等での勤務、あるいはこれと同等の社会的経験を有する場合はその勤務における活動状況を A4 版 1 ないし 2 枚程度にまとめ提出すること。 冒頭に出願者氏名を明記すること。 水産学に関連する特記すべき活動状況があれば、それを明記すること。 研究論文、技術報告書、特許、実用新案やこれらに類する実績がある場合は、それを明記すること。
⑦	志願理由書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。

⑧	研究計画書	当研究科入学後の研究計画を A4 版 1 枚程度にまとめ提出すること。 冒頭に出願者氏名を明記すること。 なお、作成にあたっては、研究指導予定教員と入学後の研究計画について十分に打ち合わせておくこと。
⑨	出願承諾書	本書類は、研究指導予定教員が作成するものである。出願に際し、研究指導教員に作成を依頼すること。 研究指導教員においては、本学所定の用紙を用い、黒インクまたはボールペンで記入すること。 本書類については、14 頁に示す出願期間に研究指導予定教員が提出すること。
⑩	写真 2 枚	上半身脱帽「縦 4 cm×横 3 cm」、出願前 3 ヶ月以内に撮影したものを、願書及び写真票の所定の位置に貼付すること。
⑪	受験許可書	官公庁・企業・教育機関等に在職中の者は、その長が発行したもの (本学所定の用紙を用いること。)
⑫	在留資格を証明する書類	外国人志願者のみ 在留カード又は旅券の写し
⑬	返信用封筒	郵便番号・住所・氏名を明記し、82 円切手を貼付した長形 3 号の封筒
⑭	検定料	30,000 円 (検定料払込書(朱書)により、郵便局から払込み後、出願書類に【振替払込受付証明書(お客さま用)】を添えて出願すること。) なお、払込方法、留意事項は、「4. 検定料の納入について」(13 頁)を参照してください。

【注】出願書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、日本語もしくは英語の翻訳文を原本とともに提出すること。

(3) 選考方法

入学者の選考は、筆記試験(小論文)、面接試験及び出願書類を総合して行う。

(4) 筆記試験科目

①小論文

筆記試験の基礎科目(小論文)は、大学院(修士課程)の授業科目を履修、研究指導を受けるための基礎的な知識と理解力、ならびに考察力を問うものである。

小論文では、水産学を学ぶ上で必要な基礎的事項ならびに水産学における課題探求力、問題解決のための提案力について評価する。小論文の配点は 200 点とする。

2-3. 外国人留学生特別選抜（面接を課す）

(1) 出願資格

外国の国籍を有する者のうち、出入国管理及び難民認定法において大学院の入学に支障ない在留資格を有する者または取得できる見込みの者で、一般選抜出願資格の①～⑨のいずれかに該当する者

【注】一般選抜出願資格に示す出願資格⑧⑨により出願しようとする者については、事前に入学資格審査を行うので、あらかじめ鹿児島大学水産学部学生係に照会し、入学資格審査申請等の関係書類を下記日時までに同係へ提出すること。

第1次募集 平成29年6月5日（月）16時まで（必着）

第2次募集 平成29年11月21日（火）16時まで（必着）

【注】出願の前に、自分が研究指導を希望する当研究科の教員（研究指導予定教員）と連絡を取り、入学後の学習・研究計画について十分に打ち合わせておくこと。

(2) 出願書類等

	提出書類等	注意事項
①	入学願書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
②	自己推薦書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
③	卒業証明書 又は 卒業見込証明書	1) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（本学部出身者は不要） 2) 一般選抜出願資格②により出願する場合は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は学位授与見込証明書
④	成績証明書	出身大学（学部）長が発行したもの。
⑤	志望説明書	これまでの学習・研究の成果と当研究科の志望動機を A4 版 2 枚程度にまとめ提出すること。 冒頭に出願者氏名を明記すること。 卒業研究論文、研究調査報告書やそれに類する業績を有する場合、あるいはそれらを作成中の場合は、志望説明書内に明記すること。
⑥	研究計画書	当研究科入学後の研究計画を A4 版 2 枚程度にまとめ提出すること。 冒頭に出願者氏名を明記すること。 作成にあたっては、研究指導予定教員と入学後の研究計画について十分に打ち合わせておくこと。
⑦	出願承諾書	本書類は、研究指導予定教員が作成するものである。出願に際し、研究指導教員に作成を依頼すること。 研究指導教員においては、本学所定の用紙を用い、黒インクまたはボールペンで記入すること。 本書類については、14 頁に示す出願期間に研究指導予定教員が提出すること。

⑧	写真 2 枚	上半身脱帽「縦 4 cm×横 3 cm」、出願前 3 カ月以内に撮影したものを、願書及び写真票の所定の位置に貼付すること。
⑨	在留資格を証明する書類	在留カード又は旅券の写し
⑩	返信用封筒	郵便番号・住所・氏名を明記し、82 円切手を貼付した長形 3 号の封筒
⑪	検定料	<p>30,000 円</p> <p>郵便局からの払込みにより支払った場合は、出願書類に【振替払込受付証明書（お客さま用）】を添えて出願すること。</p> <p>金融機関からの海外送金により支払った場合は、出願書類に外国送金依頼書の写しを添えて出願すること。</p> <p>なお、払込方法、留意事項は、「4. 検定料の納入について」（13 頁）を参照してください。</p> <p>【注】日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要。証明書等を添付すること。</p> <p>【注】外国政府派遣留学生は不要。但し、外国政府等から検定料が支給されている場合は、適用しない。検定料の不徴収を希望する場合は、必ず事前に問い合わせること。</p>

【注】出願書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、日本語もしくは英語の翻訳文を原本とともに提出すること。

(3) 選考方法

入学者の選考は、面接試験及び出願書類を総合して行う。

2-4. 外国人留学生特別選抜（面接を課さない）

(1) 出願資格

外国の国籍を有する者のうち、出入国管理及び難民認定法において大学院の入学に支障ない在留資格を有する者または取得できる見込みの者で、一般選抜出願資格の①～⑨のいずれかに該当し、以下の(ア)～(エ)に示す留学生として鹿児島大学大学院水産学研究科（修士課程）への派遣が確約されており、かつ入学試験日において海外在住を予定している者

(ア) 国費外国人留学生

(イ) 外国政府派遣留学生

(ウ) 国際機関の推薦により派遣される私費留学生

(エ) 国際機関に準ずる国際的な組織の推薦により派遣される私費留学生

【注】一般選抜出願資格に示す出願資格⑧⑨により出願しようとする者については、事前に入学資格審査を行うので、あらかじめ鹿児島大学水産学部学生係に照会し、入学資格審査申請等の関係書類を下記日時までに同係へ提出すること。

第1次募集 平成29年6月5日（月）16時まで（必着）

第2次募集 平成29年11月21日（火）16時まで（必着）

【注】出願の前に、自分が研究指導を希望する当研究科の教員（研究指導予定教員）と連絡を取り、受け入れが可能であることを確認するとともに、入学後の学習・研究計画について十分に打ち合わせておくこと。

(2) 出願書類等

	提出書類等	注意事項
①	入学願書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
②	自己推薦書	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。
③	卒業証明書 又は 卒業見込証明書	1) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（本学部出身者は不要） 2) 一般選抜出願資格②により出願する場合は、大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は学位授与見込証明書
④	成績証明書	出身大学（学部）長が発行したもの。
⑤	推薦書	出身大学の学部長、研究科長、または所属機関の長の推薦書を提出すること。 推薦書に作成者の署名もしくは押印を受けること。 書式は任意とする。

⑥	留学生としての派遣が確約されていることを証明する書類等	外国人留学生特別選抜（面接を課さない）出願資格に示す（ア）から（エ）のいずれかにより派遣されることを証する、派遣元が発行した書類等写しでも可とする。
⑦	志望説明書	これまでの学習・研究の成果と当研究科の志望動機を A4 版 2 枚程度にまとめ提出すること。 冒頭に出願者氏名を明記すること。 卒業研究論文、研究調査報告書やそれに類する業績を有する場合、あるいはそれらを作成中の場合は、志望説明書内に明記すること。
⑧	研究計画書	当研究科入学後の研究計画を A4 版 2 枚程度にまとめ提出すること。 冒頭に出願者氏名を明記すること。 作成にあたっては、研究指導予定教員と入学後の研究計画について十分に打ち合わせておくこと。
⑨	学力等評価・出願承諾書	本書類は、研究指導予定教員が作成するものである。出願に際し、研究指導教員に作成を依頼すること。 研究指導教員においては、本学所定の用紙を用い、黒インクまたはボールペンで記入すること。 本書類については、14 頁に示す出願期間に研究指導予定教員が提出すること。
⑩	研究指導予定教員との打ち合わせ状況を確認できる書類等	出願に際して行った研究指導予定教員との打ち合わせ状況（研究指導予定教員受入の可否、出願者の資質・学力・研究能力などの確認、入学後の学習・研究計画の打ち合わせなど）が確認できる通信記録など（コピー可）を提出すること。 本書類については、14 頁に示す出願期間中の研究指導予定教員による提出も可とする。
⑪	写真 2 枚	上半身脱帽「縦 4 cm×横 3 cm」、出願前 3 カ月以内に撮影したものを、願書及び写真票の所定の位置に貼付すること。
⑫	在留資格を証明する書類	在留カード又は旅券の写し
⑬	返信用封筒	郵便番号・住所・氏名を明記した長形 3 号の封筒

⑭	検定料	<p>30,000 円</p> <p>郵便局からの払込みにより支払った場合は、出願書類に【振替払込受付証明書（お客さま用）】を添えて出願すること。</p> <p>金融機関からの海外送金により支払った場合は、出願書類に外国送金依頼書の写しを添えて出願すること。</p> <p>なお、払込方法、留意事項は、「4. 検定料の納入について」（13 頁）を参照してください。</p> <p>【注】日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要。証明書等を添付すること。</p> <p>【注】外国政府派遣留学生は不要。但し、外国政府等から検定料が支給されている場合は、適用しない。検定料の不徴収を希望する場合は、必ず事前に問い合わせること。</p>
---	-----	--

【注】出願書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、日本語もしくは英語の翻訳文を原本とともに提出すること。

(3) 選考方法

入学者の選考は、出願書類を総合して行う。

3. 出願手続

出願者は検定料を納入後、出願書類を一括取りそろえて受付期間内に鹿児島大学水産学部学生係に提出または郵送すること。

なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒に「大学院入学願書在中」と朱書すること。

4. 検定料の納入について

(1) 払込方法（郵便局からの払込により支払う場合）

出願者は、以下に示した要領で入学検定料 30,000 円を納付すること。

- ① 検定料払込用紙の入学志願研究科名、修士課程に○印、おところ、おなまえ（フリガナ）、電話番号を黒のボールペンで正確に記入してください。
- ② 郵便局の窓口で、願書受付期間内に払込にて納付してください。
※ 郵便普通為替証書・現金での納付はできません。
※ ATM（現金自動預入払出機）やインターネットバンキングでの払込はできません。
- ③ 払込後【振替払込受付証明書（お客さま用）】を出願書類に同封してください。なお、払込票は各自で保管してください。

(2) 振込方法（海外の金融機関から海外送金により支払う場合）

海外からの出願者は、以下に示した要領で入学検定料 30,000 円を金融機関から海外送金する必要がある。ただし、送金に要する手数料は出願者が負担し、振込後、外国送金依頼書の写しを出願書類に同封すること。

- ① 「電信送金（Telegraphic Transfer）」で送金すること。
- ② 支払い方法を「通知払い（Advice and Pay）」とすること。
- ③ 送金目的を「入学検定料（Application Fee）」とすること。
- ④ 送金依頼人（Remitter）は志願者本人の氏名とすること。
- ⑤ 送金は「円建て（yen basis）」で行い、金額に過不足が生じないようにすること。日本国外から振込む場合、振込には「被仕向送金手数料（Remittance charge）」と日本の銀行での「円為替手数料（Yen exchange charge）」が必要となります。この「被仕向送金手数料（Remittance charge）」と「円為替手数料（Yen exchange charge）」は、「依頼人負担（Paid by the remitter）」となります。
送金金額（Amount of remittance）：入学検定料（Application Fee 30,000 円）＋「送金手数料（Remittance charge）」＋「円為替手数料（Yen exchange charge）」
入学検定料が正しく送金されない場合、入学願書は受理されません。
- ⑥ 送金後ただちに納入したことを、水産学部学生係（fgakusei@kuas.kagoshima-u.ac.jp）まで、メールで連絡すること。

送金先銀行名・支店名・口座番号：Account of Kagoshima University

1	送金種類 Type of remittance	電信送金 Telegraphic transfer
2	通貨 Currency	日本円 Japanese Yen
3	支払方法 Method of payment	通知払 Advice and pay
4	円為替手数料 Yen exchange charge	依頼人負担 Paid by the remitter
5	被仕向送金手数料 Remittance charge	依頼人負担 Paid by the remitter
6	送金目的 Purpose of payment	入学検定料 Application Fee
7	送金金額 Amount of remittance	各手続きに必要な金額 Specified fee for each procedure ※送金依頼書の連絡事項欄(message to payee)に 「 PAY IN FULL 」と記入し、送金にかかる各種 手数料は出願者が負担してください。
8	送金先詳細 Information on recipient of payment	
	銀行名 Paying bank	鹿児島銀行 KAGOSHIMA BANK
	スウィフトコード Swift code	KAGOJPJT
	銀行住所 Bank address	郵便番号 890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 46-20 (Shimoarata 4-46-20, Kagoshima, 890-0056, Japan)
	受取人口座番号 Account number	鴨池支店普通預金 1262068, 1262068, KAMOIKE BRANCH
	受取人 Account name	国立大学法人 鹿児島大学長 前田 芳實 (President, Dr. Yoshizane Maeda)
	受取人住所 Address	〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目 21-24 鹿児島大学財務部経理課収入係 Korimoto 1-21-24, Kagoshima, 890-8580, Japan
	受取人電話番号 Telephone Number	TEL 099-285-3355 又は 099-285-7116

(3) 留意事項

- ① 次の場合は入学願書を受理できないので注意すること。
 - (ア) 【振替払込受付証明書（お客さま用）】もしくは外国送金依頼書の写しが出願書類に同封されていない場合
 - (イ) 【振替払込受付証明書（お客さま用）】に郵便局の受付窓口で受けた日附印がない場合
- ② 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還されない。
 - (ア) 検定料を納入したものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。
 - (イ) 誤って検定料を二重に納入した場合。

5. 出願期間

第1次募集（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜（面接を課す）、外国人留学生特別選抜（面接を課さない））

平成29年6月12日（月）から6月16日（金）の間、9時から16時まで
郵送の場合も、6月16日（金）の16時までに必着のこと。

第2次募集（一般選抜・社会人特別選抜）

平成29年12月4日（月）から12月8日（金）の間、9時から16時まで
郵送の場合も、12月8日（金）の16時までに必着のこと。

第2次募集（外国人留学生特別選抜（面接を課す）、外国人留学生特別選抜（面接を課さない））

平成30年1月4日（木）から1月10日（水）の間、9時から16時まで
郵送の場合も、1月10日（水）の16時までに必着のこと。

6. 試験日時及び場所

(第1次募集)

試験区分	月日	受験者入室時刻	試験時間	場所
基礎科目 (または小論文)	平成29年 8月18日(金)	8時50分	9時00分～ 10時30分	鹿児島大学 水産学部4号館 33号講義室
英語		10時50分	11時20分～ 12時40分	
面接			14時00分～	水産学部学生係に集合 (13時50分までに)

(第2次募集)

試験区分	月日	受験者入室時刻	時間	場所
基礎科目 (または小論文)	平成30年 1月24日(水)	8時50分	9時00分～ 10時30分	鹿児島大学 水産学部4号館 33号講義室
英語		10時50分	11時10分～ 12時30分	
面接			14時00分～	水産学部学生係に集合 (13時50分までに)

(受験上の注意)

- 「基礎科目」または「小論文」、および「英語」については、受験者入室時刻までに試験室に入室すること。
- 社会人特別選抜受験者対象のTOEFL-ITPテスト(Level1)は、「英語」と同じ時間帯で実施する。「英語」と同じ時間帯で実施する。受験者は、受験者入室時刻(10時50分)までに試験室に入室すること。
- 「面接」については、13時50分までに鹿児島大学水産学部学生係に集合すること。
- 受験者は、試験監督者の指示がなければ試験室に入出入りすることはできない。
- 試験開始後20分以上遅刻したときは、その科目等の受験を認めない。
- 試験時間中に机の上に置けるものは、受験票のほかに鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類を除く)、時計(辞書や電卓など計時以外の機能があるもの、秒針音のするもの、大型のものを除く)、めがね、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、目薬、関数電卓(「基礎科目」の試験時間に限り)とする。
- 携帯電話などの電子機器類は試験室に入る前にアラームの設定を解除して電源を切り、かばんなどにしまうこと。
- 試験に際して不正行為が認められた受験者については、その試験は無効とし、その後の受験は認めない。
- 試験当日は受験票を必ず持参すること。受験票が次の期日までに届かない場合は、鹿児島大学水産学部学生係に連絡すること(第1次募集:平成29年7月31日(月)、第2次募集:平成30年1月17日(水))。

7. 障害を有する入学志願者の事前相談

障害（下表参照）を有する等、受験上特別な配慮及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ本研究科と相談する必要がある。なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用しての受験を希望する場合も事前相談を必要とする。

区分	身体の障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満又は視力以外の視機能障害が高度のものの中で、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの。
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のもの。
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が、補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの。 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの。 2. 身体虚弱の状態が、継続して生活規制を必要とする程度のもの。

※学校教育法施行令第 22 条の 3 の規定に準拠した。

(1) 相談の時期

相談の内容によっては、本学研究科の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともあるため、なるべく出願期間の数日前までに相談すること。

(2) 相談の方法

電話または本学研究科で事前に相談のうえ、下記事項等を記載した書類（様式任意）を提出すること。

事前相談

- ① 志願大学院研究科、氏名、生年月日
- ② 障害の種類、程度（医師の診断書が必要な場合があります）
- ③ 受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④ 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 本人の現住所及び電話番号
- ⑦ 医師の診断書（必要な場合）
- ⑧ 身体障害者手帳等の写し（必要な場合）

8. 合格者発表

(第1次募集) 平成29年9月1日(金) 午前10時

(第2次募集) 平成30年2月7日(水) 午前10時

水産学部の掲示板に掲示するとともに、合格者に合格通知書を別途送付する。

9. 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続きの日時及びその他必要な書類を、下記の期日までに合格者へ別途通知する。なお、所定の期間内に入学手続きを行わなかった場合は、入学しないものとして取り扱う。

(第1次募集) 平成29年10月中旬頃

(第2次募集) 平成30年2月中旬頃

(2) 入学手続場所

鹿児島大学水産学部学生係

(3) 提出書類 (各一部ずつ)

- ① 宣誓書
- ② 在学保証書(保証人必要、但し、留学生については在学期間を通じて保証できる者)
- ③ 身元保証書(留学生のみ)
- ④ 卒業証明書(本学部卒業生または卒業見込者は不要、他大学卒業見込者は3月31日までに提出)
- ⑤ 成績証明書(最終のもの。本学部卒業生または卒業見込者は不要、他大学卒業見込者は、3月31日までに提出)
- ⑥ 同意確認書(個人情報)
- ⑦ 入学料振替払込受付証明書(お客さま用)

(4) 納付金の納入

入学料 282,000円

- ① 入学料は、郵便局の受付窓口で払い込んでください。その際、払込取扱票等の※欄は、合格者の氏名等を記入してください。

ATM(現金自動預入払出機)での払込みはできません。

また、振替払込受付証明書(お客さま用)は、郵便局の受付窓口で日附印を受けた上で、入学手続時に提出してください。

なお、既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

- (ア) 入学料を払い込んだが、入学手続きをしなかった場合
- (イ) 入学料を誤って二重に払い込んだ場合
- ② 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は、別添の「入学料徴収猶予・免除申請について」を参照してください。(※経済的理由によって希望する場合は、学業優秀と認められる指導教員の推薦書(様式任意)が必要となります。)
- ③ 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

- ④ 日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は不要。証明書等を添付すること。
- ⑤ 外国政府派遣留学生は不要。但し、外国政府等から検定料が支給されている場合は、適用しない。検定料の不徴収を希望する場合は、必ず事前に問い合わせること。

授業料 267,900 円 (年額 535,800 円)

- ① 授業料は、免除申請中の者を除き、本人指定の口座から所定の期日に引き落とします。別添の「授業料の納入方法について」を参照。
※国費外国人留学生は不要。
- ② 授業料の免除を希望する者は、別添の「授業料免除申請について」を参照してください。
- ③ 授業料に改定があった場合は、改訂後の授業料を納入していただくことになります。
- ④ 在学中に授業料改訂が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用されます。

10. 注意事項

- 1. 出願手続きその他に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがある。
- 2. 出願手続後の提出書類の内容変更は認めない。
- 3. 出願手続後は提出書類及び検定料は返還しない。
- 4. 本募集要項の郵送を希望する場合は、250 円分の切手を貼付し、郵便番号、氏名、宛先住所を記入した角形 2 号 (24 cm×33 cm) を同封すること。
- 5. 入学試験に関する照会は、所要の切手を貼付し、郵便番号、氏名、宛先住所を記入した返信用封筒を同封すること。

11. 入試情報の開示について

- 1. 試験問題、配点・評価方法および正解・解答例の開示は、請求に基づき鹿児島大学水産学部学生係で行う。
- 2. 試験問題、配点評価方法は、試験実施日以降に開示する。また、正解・解答例については、複数の正解・解答例があり得ることから、正解・解答例に代えて出題の意図を開示する場合もある。
- 3. 平成 30 年度入試に係る個人情報の開示内容は、各試験科目の得点、合計得点、面接等の評価、並びに合否の別とする。ただし、受験者本人の請求に基づく場合のみとし、開示期間は合格者発表後 2 ヶ月間とする。
- 4. 開示を希望する場合は、鹿児島大学水産学部学生係 (099-286-4040) に問い合わせのこと。

12. 個人情報の取扱いについて

- 1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱う。
- 2. 志願者から提出された出願書類の個人情報については、本学入学者選抜、合格者発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導、授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債務管理等を行うためにのみ利用し、他の目的には利用しない。

13. 出願書類提出・郵送先及び問い合わせ先

〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目 50 番 20 号
鹿児島大学水産学部学生係 電話 099-286-4040

14. 水産学研究科の専攻名・分野等名、教育方針及び教員名（平成 29 年 5 月 1 日現在）

専攻名	分野名	教育方針	教員名
水産学	水圏科学	<p>海洋環境および水圏生物の特性と両者の相互作用について総合的に理解できる人材を育成します。具体的には以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 魚類の分布、分類、生態および生活史 2. 水産無脊椎動物の形態と生態的特性 3. プランクトン生態系の構造と変動メカニズム 4. 海藻類の種多様性と保全、磯焼け、藻場造成 5. 底生生物群集の構造と沿岸生態系における役割 6. 船の安全性能と魚型ロボットの開発 7. 海洋物理学、海洋気象学、水産海洋学 8. 海岸環境工学、環境アセスメント、UAV 	<p>教授 重廣 律男 鈴木 廣志 西 隆一郎 中村 啓彦 山本 智子 本村 浩之*1 寺田 竜太*2</p> <p>准教授 久米 元 小針 統</p> <p>助教 遠藤 光 須本 祐史 仁科 文子</p>
	水産資源科学	<p>資源生産管理学および増養殖学を総合的に理解できる高い能力を持ち、将来水産業界や公的機関で活躍できる人材に必要な国際水準の知識と技術の修得を目指します。具体的には以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 甲殻類および魚類の資源生態と資源管理 2. 水産資源の数理解析 3. 漁具および漁業生産技術とその管理 4. 漁具に対する水産動物の感覚と行動 5. 洋上計測機器の原理と性能 6. 魚病の治療や水産生物の免疫メカニズム 7. 養殖魚介類を健全に育成するために有効な飼料素材と新しい飼料の開発 8. 健全で健康な養殖および放流用種苗の生産 9. 有用水産生物の配偶子生産技術の開発 	<p>教授 大富 潤 越塩 俊介 バスケス A ミゲル 山本 淳</p> <p>准教授 安樂 和彦 石川 学 石崎 宗周 江幡 恵吾 小谷 知也 西 隆昭 山中 有一 荒木 亨介</p> <p>助教 竹内 裕 横山 佐一郎</p>
	食品生命科学	<p>食品化学、食品工学、生物化学およびバイオテクノロジーの立場から、食品およびバイオマス資源としての水産物の有効活用に関する原理と高度な技術の修得を目指します。具体的には以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物化学、分子生物学的手法を用いた水産資源の基礎的解析と有効利用 2. 魚介類の有用遺伝子の探索ならびに構造や機能の解明 3. 食品・バイオマス資源を用いた天然有機化合物の安全性と機能性 4. 水産物の食品としての高度利用のための品質維持、保存・加工方法 	<p>教授 上西 由翁 木村 郁夫</p> <p>准教授 小松 正治 塩崎 一弘 進藤 穰 杉山 靖正</p> <p>講師 山田 章二</p> <p>助教 加藤 早苗</p>

*1 は総合研究博物館所属教員

*2 は連合農学研究科所属教員

専攻名	分野名	教育方針	教員名
水産学	水産経済学	<p>水産業が、他産業では代替できない貴重な食料供給産業であり、国民経済上不可欠な存在であることを認識した上で、水産業全般の経営管理分野及び水産食料の流通・消費分野について学びます。</p> <p>主に、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水産業の諸制度や経営管理 2. 水産資源と漁場の合理的利用 3. 水産業を核とする地域経済の活性化 4. 水産業の安定的発展と水産政策 5. 水産物の流通と加工 6. 水産物の国際的な開発と貿易 7. 水産物の消費とマーケティング <p>に関する知識を修得します。</p>	<p>教授 佐久間 美明 佐野 雅昭</p> <p>准教授 鳥居 享司 久賀 みず保</p> <p>助教 佐々木 貴文</p>
	水圏環境保全学 (海洋資源環境教育研究センター)	<p>赤潮、有機汚染、有害化学物質汚染、環境保全および環境修復について総合的に理解できる人材を育成します。教育内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学物質の水域環境内動態、水生生物による生物濃縮および生物影響評価 2. 環境保全と修復に関する知識 3. 微生物を用いた水産資源の有効利用や海洋環境保全 4. 沿岸域の環境保全に関する現地調査 <p>に関する知識の修得を目標とします。</p>	<p>教授 前田 広人</p> <p>准教授 宇野 誠一 吉川 毅</p> <p>助教 國師 恵美子</p>

別紙

大学院入試情報開示請求書

平成 年 月 日

鹿児島大学大学院
水産学研究科長 殿

請求者 住所 _____

電話 _____
(郵送請求の場合に記入してください)

氏名 _____

選抜の方法 (該当事項に○を付し、所要事項を記載してください。)

- ・ 一般選抜
- ・ 社会人特別選抜
- ・ 外国人留学生特別選抜 (面接を課す)
- ・ 外国人留学生特別選抜 (面接を課さない)

受験番号 _____

私の入試成績について、情報の開示を請求します。

※注意事項

1. 請求者は、本学大学院の受験者に限ります。(代理人による請求は認めません。)
2. 試験成績は、各試験科目の得点、合計得点、面接等の評価、並びに合否の別を開示します。
3. 開示期間は合格者発表後2ヵ月間とし、開示請求は、平日(土曜・日曜・祝日を除く。)の9時から17時までの間受け付けますので、受験票を添えて請求してください。
4. 郵送による請求の場合は、必ず電話番号を記入してください。連絡が取れないと開示できない場合があります。
また、郵送の場合は、入試情報開示請求書、受験票及び書留郵便料に相当する切手(522円分)を貼った返信用封筒を同封した書留郵便により水産学部学生係に請求してください。

●●●●● 交通のご案内 ●●●●●



- JR 鹿児島中央駅から水産学部まで約 2.8km です。
- JR 鹿児島中央駅から市営バス 11 番線に乗車し
体育館前下車、徒歩 5 分です。

●お問い合わせ先●

国立大学法人 鹿児島大学 水産学部

〒890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 50 番 20 号

TEL 099-286-4040

<http://www.fish.kagoshima-u.ac.jp/>